

## 三河の昆虫

No.33

1986年12月

〒444 岡崎市明大寺町  
西郷中 生理学研究所  
技術課内  
三河昆虫研究会 発行

MIKAWA NO KONTYU

Published by

The Mikawa Insects Association

## 船着山のハムシ相

山崎隆弘

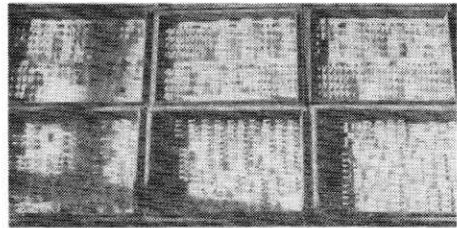
## 諸言

新城市船着山(427m)は愛知県の東部静岡県との県境近くにあつて、豊川(一級河川)中流の左岸に位置し、西方に對面する三河本宮山(789m)とはそれぞれ赤石山系と木曾山系とで成り立ちを異にする。寒地性のものはこうした系統で南下し、暖地性のものは豊川に沿つて北上し、分布を拡大しているものと思われる。船着山はこうした意味からも興味ある存在として今回調査を実施した。

調査地については一応全地域を見て廻つたが、植生や自然度からみて山頂からほぼ北に位置する市川部落一帯が最もよいと判断し、ここを中心に調査を進めた。

船着山のハムシ科については既に山崎(1978)<sup>1)</sup>によつて30種が記録されている。さらに今回の調査で船着山のハムシ科の大要は掴めるものとする。この調査で終始お世話になつた大平仁夫博士をはじめ三河昆虫研究会の諸氏に厚くお礼申し上げる。

目録に使用した学名、和名は保育社の原色日本甲虫図鑑IV(1984)に従つた。データは代表的なものを1例のみとし、採集月日の次に( )内に頭数を示し、採集者の順に記載した。標本は各採集者が所蔵している。



## (CHRYSOMELIDAE)

## ハムシ科

Zeugophorinae モモブトハムシ亜科

(1種)

1) *Zeugophora annulata* (BALY)

ワモンナガハムシ (Fig 2)

13-IV、86 (1)、山崎。

三河各地に点々と分布しているが、記録上では富山村<sup>2)</sup>、茶臼山<sup>4)</sup>などがある程度。場所によっては群生している。



Fig. 2. ワモンナガハムシ

Megalopodinae カタビロハムシ亜科 (1種)

2) *Colobaspis japonicus* (BALY)

カタビロハムシ (Fig. 3)

4-V、78 (1)、山崎。

既に船着山 (16-IV、1978<sup>1)</sup>) から1頭が記録されているが、今のところ三河地方では船着山のみで得られているもので、他所からの記録が望まれる。

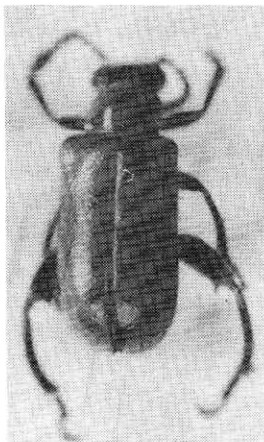


Fig. 3. カタビロハムシ

Criocerinae クビボソハムシ亜科 (5種)

3) *Liliocerus rugata* (BALY) キイ

ロクビナガハムシ (Fig. 4-2)

4-V、86 (1)、山崎。

個体数は多くない。

4) *Lema cirsicola* (CHUJO) ルリクビボソハムシ

15-V、86 (1)、浅岡。

5) *Lema diversa* (BALY) アカクビボソハムシ

船着山では文献記録 (21-V、1978<sup>1)</sup>) のみであるが、平地に普通。

6) *Lema adamsii* (BALY) キベリクビボソハムシ (Fig. 4-1)

18-V、86 (2)、浅岡。

時々採集されるが稀、茶臼山高原<sup>3)</sup>、豊川市財賀寺<sup>4)</sup>、段戸<sup>5)</sup>で記録されている。

7) *Lema honorata* (BALY) ヤマイモハムシ (Fig. 4-3)

29-IV、86 (1)、山崎。

普通、他にも多く採集。

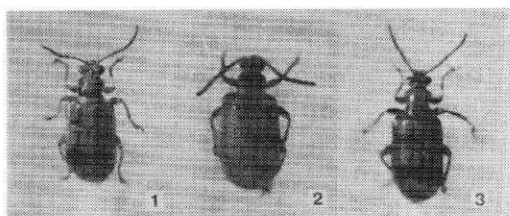


Fig. 4.

1. キベリクビボソハムシ 2. キイロクビナガハムシ 3. ヤマイモハムシ

Clytrinae ナガツツハムシ亜科 (2種)

8) *Smaragdina aurita* (LINNE)

キボシルリハムシ

15-V、86 (1)、浅岡。

船着山で採集されたのはこれ1頭のみ。

9) *Smaragdina nipponensis* (CHUJO) キイロナガツツハムシ (Fig. 5)

4-V、86(2)、山崎。

三河各地でよく採集されるが、いずれも個体数が少なく、記録上も少ない。



Fig. 5. キイロナガツツハムシ

Cryptocephalinae ツツハムシ亜科  
(5種)

10) *Adiscus lewisii* (BALY) タマツツハムシ

15-VI、86(1)、浅岡。

船着山ではこの1頭が得られたのみであるが、小形種のため各所で見落されているものと思われる。今のところ段戸<sup>5)</sup>、渥美清田池<sup>8)</sup>で記録がある程度。

11) *Cryptocephalus approximatus* (BALY) バラルリツツハムシ

29-IV、86(1)、山崎。

普通。既に船着山<sup>1)</sup>から記録されている。

12) *Cryptocephalus fortunatus* (BALY) キアシルリツツハムシ (Fig. 6-1)

15-IV、86(3)、浅岡。

本宮山系では豊川財賀寺を経て遠望峰山まで分布するが、弓張山系では船着山から南部ではまだ採集していない。

13) *Cryptocephalus signaticeps* (BALY) クロボシツツハムシ (Fig. 6-2)

26-IV、86(4)、山崎。

普通。既に船着山<sup>1)</sup>から記録されている。

14) *Cryptocephalus confusus* (SUFFRIAN)

チビルリツツハムシ

18-V、86(1)、山崎。

ツツハムシのなかでも特に小形で採集しにくいためか、茶臼山高原<sup>3)</sup>で記録がある程度。

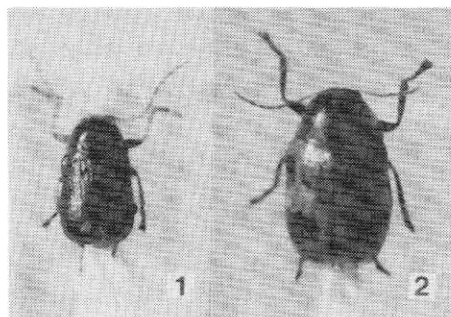


Fig. 6.

1. キアシルリツツハムシ
2. クロボシツツハムシ

Chalamisinae コブハムシ亜科

(2種)

15) *Chalamisus lewisii* (BALY) ツバキコブハムシ

15-VI、86(1)、浅岡。

既に船着山から記録されている。その他吉祥山<sup>6)</sup>、岡崎<sup>13)</sup>、蒲郡<sup>7)</sup>等で記録があり特に御津山では多産する。

16) *Chalamisus spilotus* (BALY) ムシクソハムシ

18-V、86(1)、山崎。

普通。既に船着山<sup>1)</sup>から記録されている。

Lamprosomatinae ツヤハムシ亜科

(2種)

17) *Oomorhoides cupreatus* (BALY) ドウガネツヤハムシ

29-IV、86(6)、山崎。

渥美半島や南部低山地では原型ばかりであるが、遠望峰山でわずかに、豊川財賀寺から本宮山にかけてやや *f. yuasai* (青色型)の混棲が見

られるが、船着山では *f. yuasai* の占める割合がそれよりも高い。

18) *Oomorplus japonicus* (JACOBY)

ヒメツヤハムシ

29 - IV、86 (1)、山崎。

文献上阿寺・段戸・茶白山 (1953)<sup>5)</sup> で記録されていたものの、その後一度も採集できなかったが、今回船着山で1頭のみであるが、本種を確認することができた。

Eumolpinae サルハムシ亜科

(7種)

19) *Basilepta fulvipes* (MOTSCHULSKY)

アオバネサルハムシ

15 - IV、86 (1)、浅岡。

普通であるが各種のパターンがあるのでこうした観点から割合を調べるのも面白い種。今回の採集品はこの1頭のみ。ヨモギにいる。

20) *Pagria signata* (MOTSCHULSKY)

ヒメキバネサルハムシ

18 - V、86 (1)、浅岡。

普通。

21) *Trichochrysea japana* (MOTSCHULSKY)

トビサルハムシ (Fig. 7-1)

26 - IV、86 (13)、山崎。

船着山では既に記録されているが、ここでは三河地方でも特に個体数が多く、クヌギ等に群生している。

22) *Hyperaxis fasciata* (BALY) クロ

オビカサハラハムシ

26 - IV、86 (1)、山崎。

普通。既に船着山から記録されている。

23) *Demotina fasciculata* (BALY) マ

ダラカサハラハムシ

18 - V、86 (1)、山崎。

普通。既に船着山<sup>1)</sup>から記録されている。

24) *Demotina decorata* (BALY) チビカ

サハラハムシ

4 - V、80 (1)、山崎。

小形種のためか記録が少ない。

25) *Acrothinium gaschckuitchii*

(MOTSCHULSKY) アカガネサルハムシ (Fig. 7-2)

29 - IV、86 (1)、山崎。

金赤緑の美しい種であるが普通。既に船着山<sup>1)</sup>から記録されている。

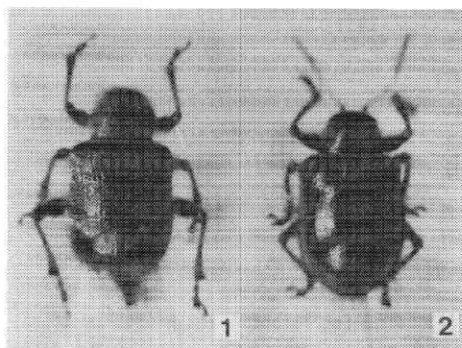


Fig. 7.

1. トビサルハムシ

2. アカガネサルハムシ

Synetinae ホソハムシ亜科

(1種)

26) *Synetinae adamsi* (BALY) カバノキハムシ (Fig. 8)

13 - IV、86 (1)、山崎。

山地には普通であるが船着山より南部ではまだ採集していない。既に船着山<sup>1)</sup>では記録されている。



Fig. 8. カバノキハムシ

Chrysomelinae ハムシ亜科

(3種)

27) *Gastrolinoides japonica* (HAROLD)  
ズグロキハムシ (Fig. 9-1)  
13-IV、86(1)、山崎。  
船着山ではこの1頭のみを採集したが三河本宮山では個体数も多い。本宮山・段戸・茶白山<sup>5)</sup>で記録あり。

28) *Gonioctena rubripennis* (BALY)  
フジハムシ (Fig. 9-3)  
26-IV、86(2)、山崎。  
*f. plagiipennis* (黒条型)は関東南部から東海・近畿・山陽と四国北部に分布するもので、船着山の場合も原型よりもこの黒条型がはるかに優位で、今回の調査標本26頭のうち原型はわずか3頭であった。やはり高い割合で黒条型が見られた。

29) *Gonioctena nigroplagiata* (BALY)  
ヤツボシハムシ (Fig. 9-2)  
18-V、86(14)、山崎。  
中腹のエノキに群生していたが、他に本宮山<sup>5)</sup>に産するが今のところ産地に限られている。既に船着山<sup>9)</sup>から記録されている。

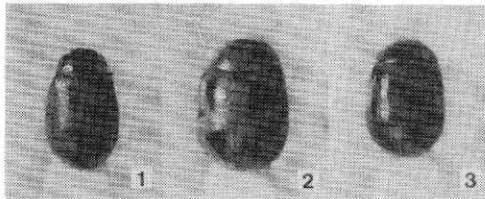


Fig. 9.  
1. ズグロキハムシ 2. ヤツボシハムシ  
3. フジハムシ

Galerucinae ヒゲナガハムシ亜科  
(11種)

30) *Pyrrhalta semifulva* (JACOBY)  
アカタデハムシ  
29-IV、86(2)、山崎。  
普通。船着山<sup>1)</sup>からは既に記録あり。  
31) *Pyrrhalta maculicollis*  
(MOTSCHULSKY)ニレハムシ (Fig. 10-4)  
26-IV、86(6)、山崎。  
局所的に群生していた。三河地方からはこれ

が最初の記録と思われる。  
32) *Aulacophora femoralis*  
(MOTSCHULSKY)ウリハムシ  
27-IV、86(1)、浅岡。  
33) *Aulacophora nigripennis*  
(MOTSCHULSKY)クロウリハムシ (Fig. 10-6)  
27-IV、86(1)、浅岡。  
多産する。  
34) *Paridea quadriplagiata* (BALY)  
ヨツボシハムシ (Fig. 10-1)  
4-V、86(4)、山崎。  
やや普通。  
35) *Paridea angulicollis*  
(MOTSCHULSKY)アトボシハムシ (Fig. 10-7)  
18-V、86(1)、山崎。  
船着山<sup>1)</sup>からは既に記録されている。  
36) *Fleutiauxia armata* (BALY)  
クワハムシ (Fig. 10-5)  
26-IV、86(1)、山崎。  
船着山<sup>1)</sup>からは既に記録されている。  
37) *Hesperomorpha hirsuta* (JACOBY)  
ケブカクロナガハムシ (Fig. 10-9)  
18-V、86(1)、浅岡。  
三河地方からはこれが最初の記録と思われる。  
38) *Arthrotus niger* (MOTSCHULSKY)  
ムナグロツヤハムシ (Fig. 10-3)  
13-IV、86(2)、山崎。  
普通。  
39) *Agelasa nigriceps* (MOTSCHULSKY)  
キクピアオハムシ (Fig. 10-2)  
13-IV、86(1)、浅岡。  
弓張山系では嵩山<sup>10)</sup>あたりでも記録されている。  
40) *Gallarucida bifasciata*  
(MOTSCHULSKY)イタドリハムシ (Fig. 10-8)  
29-IV、86(4)、山崎。

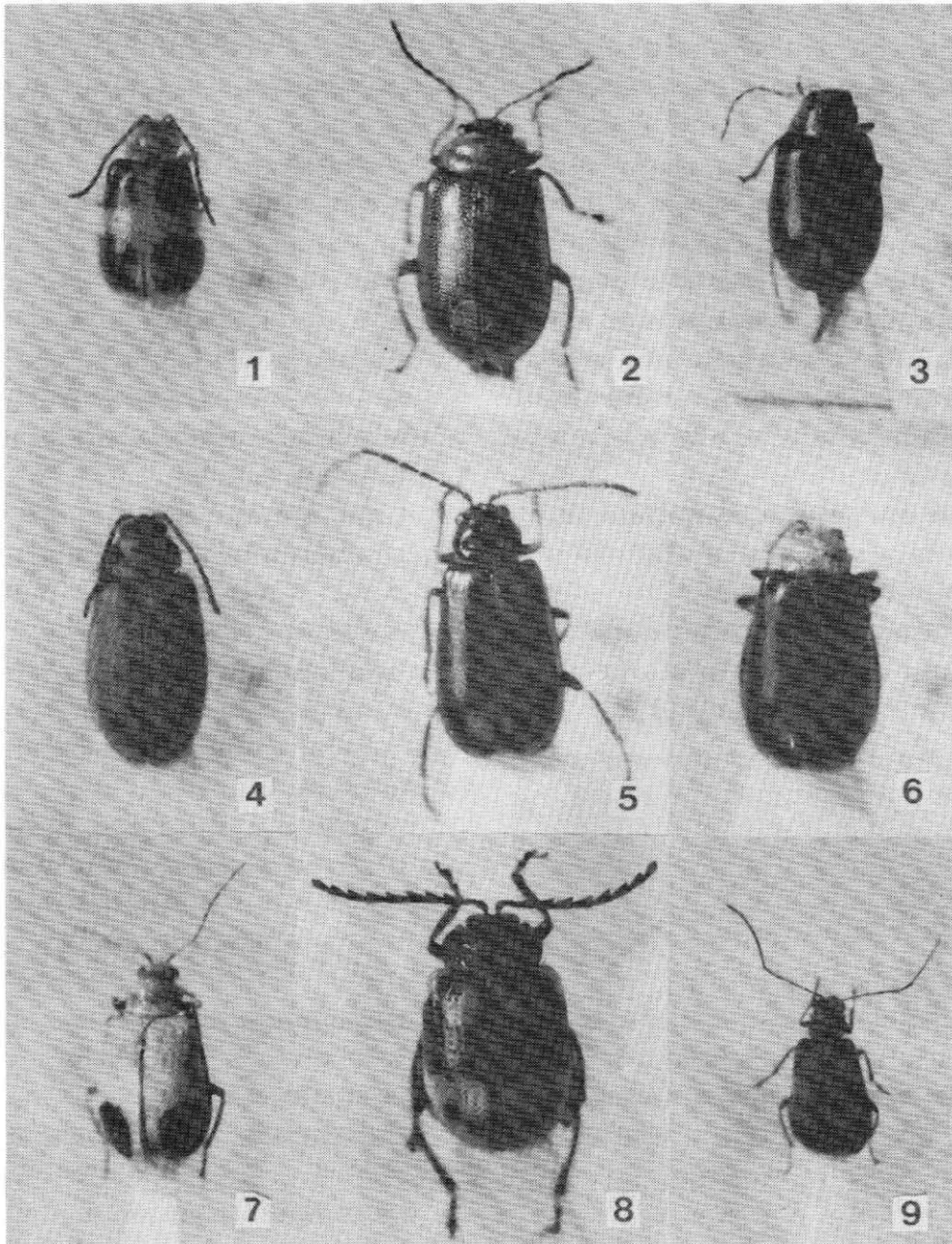


Fig. 10.

1. ヨツボシハムシ    2. キクビアオハムシ    3. ムナグロツヤハムシ    4. ニレハムシ  
5. クワハムシ    6. クロウリハムシ    7. アトボシハムシ    8. イタドリハムシ  
9. ケブカクロナガハムシ

- Alticinae ノミハムシ亜科  
(17種)
- 41) *Altica cyanea* (WEBER) カミナ  
リハムシ  
15-V、86(1)、山崎。
- 42) *Altica viridicyanea* (BALY)  
コカミナリハムシ  
4-V、86(3)、山崎。
- 43) *Aphthonaltica angustata* (BALY)  
ホソルリトビハムシ  
三河本官山<sup>5)</sup>で記録がある程度。
- 44) *Phygasia fulripennis* (BALY)  
チャバネツヤハムシ (Fig. 11-3)  
29-IV、86(1)、山崎。
- 45) *Sangariola punctatostriata*  
(MOTSCHULSKY) カタクリハムシ  
(Fig. 11-6)  
29-IV、86(1)、山崎。  
船着山<sup>1)</sup>からは既に記録されている。その他  
吉祥山<sup>6)</sup>、茶臼山高原<sup>3)</sup>、本官山<sup>5)</sup>で記録あり。
- 46) *Trachya pht hona sordida* (BALY)  
ヒビナガラアハダトビハムシ  
29-IV、86(1)、山崎。  
小形種。古く(1953)段戸<sup>5)</sup>の記録があるの  
み。
- 47) *Aphthona perminuta* (BALY) ツブ  
ノミハムシ  
13-IV、86(2)、山崎。  
微小種。
- 48) *Aphthona strigosa* (BALY) サメハ  
ダツブノミハムシ  
4-V、80(1)、山崎。  
微小種。
- 49) *Luperomorpha funesta* (BALY)  
クワノミハムシ  
4-V、80(6)、山崎。  
小形種であるが、各所で記録あり。
- 50) *Luperomorpha tenebrosa* (JACOBY)  
キアシノミハムシ  
4-V、80(4)、山崎。
- 小形種。山地の各所で記録あり。
- 51) *Hemipyxis plagioderoides*  
(MOTSCHULSKY) ヒゲナガマルノミハムシ  
(Fig. 11-5)  
18-V、86(4)、山崎。  
普通。船着山<sup>1)</sup>では既に記録されている。
- 52) *Hemipyxis flavipennis* (BALY)  
キバネマルノミハムシ (Fig. 11-7)  
18-V、86(3)、浅岡。  
舟着山<sup>1)</sup>では既に記録されている。
- 53) *Argopus clypeatus* (BALY) オオア  
カマルノミハムシ (Fig. 11-1)  
26-IV、86(2)、山崎。  
意外と記録上では少ない種で阿寺・段戸・茶  
臼山<sup>5)</sup>、岡崎<sup>13)</sup>がある程度。
- 54) *Argopus balyi* (HAROLD) オオキイロマ  
ロマルノミハムシ (Fig. 11-4)  
15-VI、86(2)、浅岡。  
それ程稀種ではないが、県下からは記録の少  
ない種で定光寺、岡崎<sup>13)</sup>で記録がある程度。
- 55) *Sphaeroderma nigricolle* (JACOBY)  
アカバネタマノミハムシ  
4-V、80(1)、山崎。  
三河地方からはこれが最初の記録と思われる。
- 56) *Sphaeroderma placidum* (HAROLD)  
ムネアカタマノミハムシ (Fig. 11-2)  
15-VI、86(6)、浅岡。  
三河地方からはこれが最初の記録と思われる。
- 57) *Nonarthra cyaneum* (BALY) ルリマ  
ルノミハムシ  
4-V、86(2)、山崎。  
船着山<sup>1)</sup>では既に記録されている。

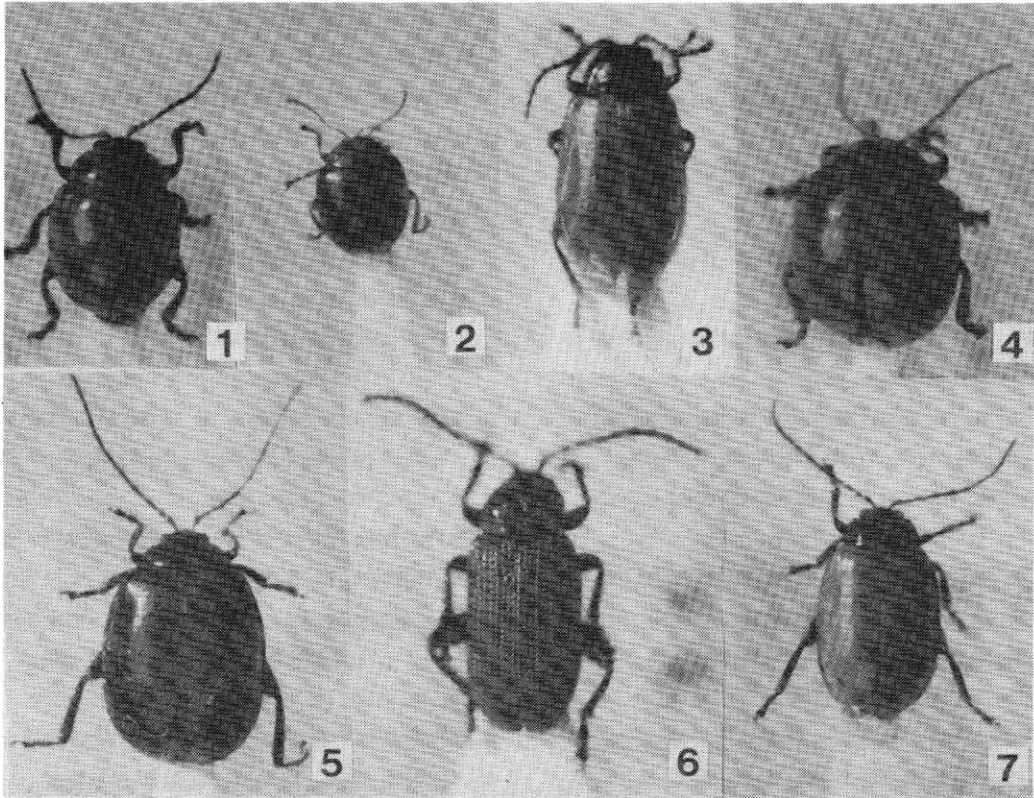


Fig. 11.

1. オオアカマルノミハムシ    2. ムネアカタマノミハムシ    3. チャバネツヤハムシ  
 4. オオキイロマルノミハムシ    5. ヒゲナガマルノミハムシ    6. カタクリハムシ  
 7. キバネマルノミハムシ

Hispinae トゲハムシ亜科

(3種)

58) *Dactylispa subquadrata* (BALY)

カタビロトゲハムシ (Fig. 12-3)

13-IV、86 (1)、山崎。

船着山<sup>1)</sup>では既に記録されている。

59) *Dactylispa angulosa* (SOLSKY)

ヒメキベリトゲハムシ (Fig. 12-2)

13-IV、86 (2)、山崎。

サクラより採集される。舟着山<sup>1)</sup>では既に記録されている。

60) *Dactylispa masonii* (GESTRO)

キベリトゲハムシ (Fig. 12-1)

4-V、86 (3)、山崎。

フキの葉上に普通。船着山<sup>1)</sup>では既に記録さ

れている。

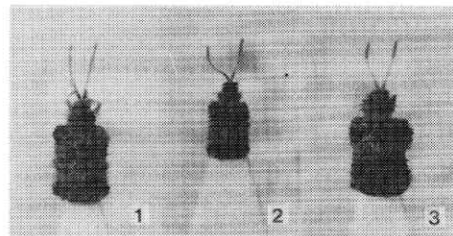


Fig. 12.

1. キベリトゲハムシ    2. ヒメキベリトゲハムシ    3. カタビロトゲハムシ

Cassidinae カメノコハムシ亜科

(3種)

61) *Cassida versicolor* (BOHEMAN)

セモンジンガサハムシ (Fig. 13-2)



27-IV、86(2)、浅岡。

船着山<sup>1)</sup>では既に記録されている。本種は原型の他に *f. crucifera* (無帯型)がある。舟着山で採集した13頭のうち3頭が無帯型であった。

62) *Cassida vespertina* (BOHEMAN)

コガタカメノコハムシ (Fig. 13-1)

6-IV、86(1)、浅岡。

山地で採集されるが、記録上は茶白山<sup>3)</sup>、稲武<sup>12)</sup>などわずかである。

63) *Thlaspidia cribrata* (BOHEMAN)

イチモンジカメノコハムシ (Fig. 13-3)

4-V、86(1)、山崎。

三河一帯に分布するが、特に南部低山地には多い。船着山<sup>1)</sup>から既に記録されている。

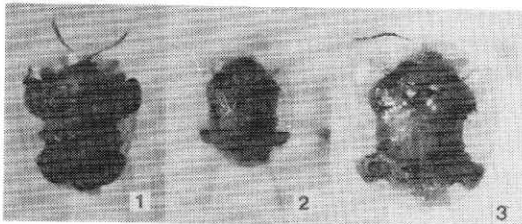


Fig. 13.

1. コガタカメノコハムシ
2. セモンジンガサハムシ
3. イチモンジカメノコハムシ

三河地方3ヶ所の種類数の比較

亜科名	豊根村	舟着山	渥美半島
ナガハムシ亜科	0	0	0
モモブトハムシ亜科	2	1	0
カタビロハムシ亜科	0	1	0
ネクイハムシ亜科	0	0	0
クビボソハムシ亜科	7	5	2
ナガツツハムシ亜科	4	2	1
ツツハムシ亜科	11	5	5
コブハムシ亜科	0	2	1
ツヤハムシ亜科	3	2	1
サルハムシ亜科	10	7	12
ホソハムシ亜科	1	1	0
ハムシ亜科	8	3	3
ヒゲナガハムシ亜科	23	11	9
ノミハムシ亜科	27	17	10
トゲハムシ亜科	3	3	0
カメノコハムシ亜科	8	3	3
計	107	63	47

以上船着山のハムシ科として13亜科63種を報告する。調査期間も4~6月と片寄りがあったにもかかわらず、標高500m以下の低山地としてこれだけの種を見い出せた。船着山でも特に市川部落一帯は随所に自然林があり、二次林を含むが昆虫類の生息環境として貴重な存在といえる。開発にはこうした価値をぜひ検討していただきたい。

船着山のハムシ科について表1で比較した結果。県下で最も標高が高く山地帯の豊根村と南部海岸地方の渥美半島とはその中間にあたる船着山の位置が数字の上でも示されている。一方内容で見ると渥美半島に分布するセスジツツハムシ、ウスイロサルハムシ、イモサルハムシ、ヒシハムシ、キスジノミハムシ、ヨモギカメノコハムシ、カメノコハムシ等々かなりの種を船着山では確認できなかった。また豊根村に分布するアカクビナガハムシ、ルイスクビナガハムシ、ウリハムシモドキ、ルイスジンガサハムシ、クロルリトゲハムシ等々の山地性の種についても確認できなかった。ともあれ三河地方では今のところ船着山でしか採集されていない *Colobaspis japonicus* (BALY) カタビロハムシ他2~3種がある。さらにまだ記録の少ないタマツツハムシ、チビルリツツハムシ、ヒメツヤハムシ、キベリクビボソハムシ、ヤツボシハムシ、ケブカクロナガハムシ、アカバナタマノミハムシ、ムネアカタマノミハムシ、コガタカメノコハムシ、ニレハムシの分布を確認した。

船着山の *Oomorhoides cupreatus* ツヤハムシの *f. yuasai* (青色型)の混生率は三河地方のなかでは高い数値を示す地域であった。*Gonioctena rubripennis* フジハムシの *f. pl-agipennis* (黒条型)が大部分を示めていること。*Cassida vassidor* セモンジンガサハムシの *f. curcifera* (無尾型)が少なかったことなど船着山を特徴づける部分である。こうしてハムシ相からみても、舟着山は低山地にもかかわらず非常に興味ある存在であった。

今回は断片的な報告ではあるが、船着山のハ

ムシ相についてまとめてみたが今後さらに時期を変えての調査と多型現象の種についての調査を進めると面白いと考える。

末尾ながら、この報告に関して貴重な資料の提供と現地でお世話になった浅岡孝知氏に厚くお礼申し上げます。

## 文 献

- 1) 山崎隆弘 (1978)、新城市船着山のハムシ：三河昆虫研究会採集ニュース2：27-30。
- 2) (1978)、富山のハムシ類：昆虫と自然13(13)：23-24。
- 3) 佐藤正孝 (1976)、茶臼山・面ノ木峠一帯の甲虫相：茶臼山高原道路建設予定地域の自然環境調査報告書：125-229。
- 4) 山崎隆弘 (1978)、豊川市財賀寺での採集報告：三河の昆虫20：77-80。
- 5) 神谷一男 (1953)、奥三河の昆虫相：北設山岳及び鳳来寺山県立自然公園一帯の自然科学：33-70。
- 6) 山崎隆弘 (1978)、三河昆虫研究会採集ニュース2：23-25。

7) 山崎隆弘 (1975)、蒲郡市の甲虫類：虫譜14：18-34。

8) 大野正男 (1969)、渥美半島のハムシ相：佳香蝶21(78)：19-28。

9) 穂積俊文 (1978)、ヤツボシハムシ三河で採集：佳香蝶30(115)：38。

10) 松野更一 (1973)、弓張山系の甲虫類：MESニュース20：18-19。

11) 穂積俊文 (1966)、東海甲虫誌第14報・ハムシ科：佳香蝶18(67)：91-113。

12) 伊藤昭博 (1964)、石巻山の甲虫類：虫譜9(1)：4-21。

13) 大平仁夫・ほか (1985)、岡崎市の動物(岡崎市史・自然14)：651-1218。

14) 豊根村教育委員会 (1980)、愛知県豊根村の動物。

15) 山崎隆弘 (1978)、エノキクロホシハムシ本宮山で採集：三河昆虫研究会採集ニュース1：1。

# 船着山のカミキリムシ類

竹内克豊

当リストは、1986年4～8月の間に、新城市船着山で採集された種と、調査期間中には得られなかったが、過去に採集例のある未発表の種をまとめたものである。

なお、当地では既に松野 (1978)<sup>\*</sup>によって、10種類が報告されている。

## ノコギリカミキリ亜科

1. *Prionus insularis* (MOTSCHULSKY)  
ノコギリカミキリ  
12-VII, 86, 浅岡。

## クロカミキリ亜科

2. *Spondylis buprestoides* (LINNE)  
クロカミキリ  
12-VII, 86, 浅岡。

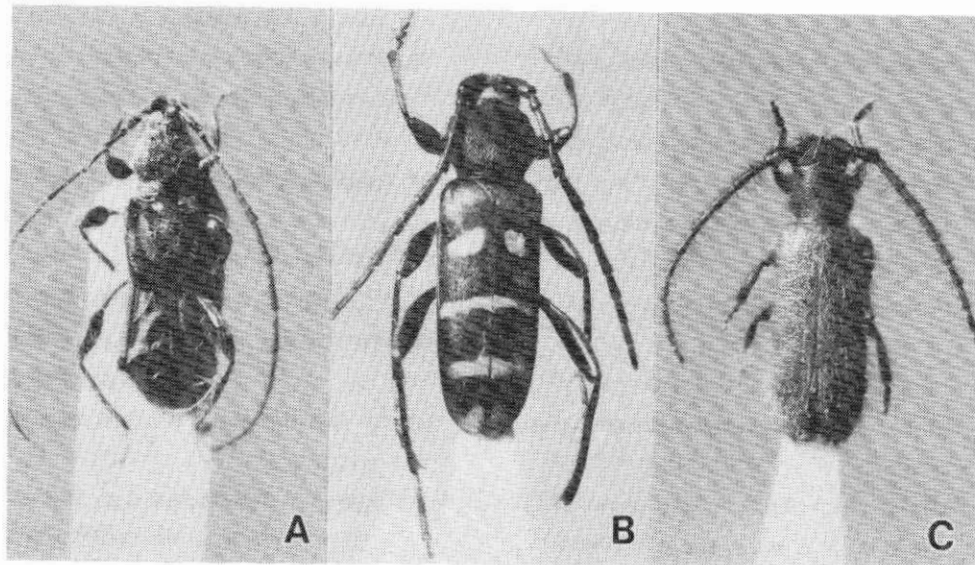
## ハナカミキリ亜科

3. *Toxotinus minutus reini* (HAROLD)  
モモグロハナカミキリ  
21-V, 78, 浅岡。
4. *Lemula decipiens* (BATES)  
キバネニセハムシハナカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。

5. *Acmaeops minuta* (GEBLER)  
ヒナハリハナカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。
6. *Pidonia amentata* (BATES)  
セスジヒメハナカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。
7. *Anoplodera azumensis* (MATSUSHITA  
et TAM ANUKI) ミヤマルリハナカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。  
以上4~7までのハナカミキリは、すべてイ  
ロハカエデの花上より採集され、個体数も多  
く見られた。
8. *Leptura aethiops* (PODA)  
クロハナカミキリ  
18-V, 86, 松野。

## カミキリ亜科

9. *Stenodryas clavigera* (BATES)  
アメイロカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
10. *Stenomalus cleroides* (BATES)  
カッコウメダカカミキリ  
27-IV, 86, 西川。  
当地では時々採集され、上記以外の記録が  
数例ある。
11. *Molorchus ishiharai* (OHYASHI)  
(図A) カエデヒゲナガコバネカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。  
当地ではイロハカエデの花上に多く、1980  
年に1本のカエデで1日に50頭以上の個体が  
採集されたことがある。
12. *Molorchus kojimai* (MATSUSHITA)  
コジマヒゲナガコバネカミキリ  
5-V, 80, 松野。
13. *Chloridolum viride* (TOM SON)  
ミドリカミキリ  
10-V, 86, 大平。
14. *Plagionotus christophi* (KRAATZ)  
(図B) クリストフコトラカミキリ  
13-IV, 86, 浅岡。  
切られて間もない、アベマキの切り株に1日  
に60頭以上の個体が飛来した。
15. *Xylotrechus rufilius* (BATES)  
クビアカトラカミキリ  
3-VIII, 86, 浅岡。
16. *Cyrtoclytus caproides* (BATES)  
キスジトラカミキリ  
16-V, 86, 浅岡。



A. カエデヒゲナガコバネカミキリ B. クリストフコトラカミキリ  
C. イボタサビカミキリ

17. *Clytus melaenus* (BATES)  
シラケトラカミキリ  
16-V, 86, 浅岡。
18. *Chlorophorus japonicus* (CHEVROLAT)  
エグリトラカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
19. *Rhaphuma diminuta* (BATES)  
ヒメクロトラカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。
20. *Demonay transilis* (BATES)  
トゲヒゲトラカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。
21. *Dere thoracica* (WHITE)  
ホタルカミキリ  
27-IV, 86, 竹内。
22. *Purpuricenus temminckii*  
(GUERINMEVILLE) ベニカミキリ  
27-IV, 86, 松野。
- フトカミキリ亜科
23. *Mesosa myops japonica* (BATES)  
ゴマフカミキリ  
27-IV, 86, 浅岡。
24. *Asaperda rufipes* (BATES)  
キクスイモドキカミキリ  
27-IV, 86, 浅岡。
25. *Microlera ptnoides* (BATES)  
ヒシカミキリ  
18-V, 86, 浅岡。
26. *Pterolophia granulatus*  
(MOTSCHEL'SKY) アトモンサビカミキリ  
27-IV, 86, 浅岡。
27. *Mesosella simiola* (BATES)  
クワサビカミキリ  
18-V, 86, 浅岡。
28. *Monochamus subtasciatus* (BATES)  
ヒメヒゲナガカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
29. *Anoplophora malasiaca* (TOMSON)  
ゴマダラカミキリ  
3-VIII, 86, 浅岡。
30. *Rhopaloscelis unitasciatus* (BLESS)  
ヒトオビアラゲカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
31. *Sybrodiboma subfasciata* (BATES)  
シロオビチビカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
32. *Sophronica obrioides* (BATES)  
(図C) イボタサビカミキリ  
16-V, 82, 浅岡。  
愛知県下では、記録の少ない種である。
33. *Eryssamena saperdina* (BATES)  
トゲバカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
34. *Atimura japonica* (BATES)  
コブスジサビカミキリ  
29-IV, 86, 浅岡。
35. *Exocentrus guttulatus* (BATES)  
シラオビゴマフケシカミキリ  
12-VII, 86, 浅岡。
36. *Exocentrus lineatus* (BATES)  
アトモンマルケシカミキリ  
12-VII, 86, 浅岡。
37. *Eutetrappa ocelota* (BATES)  
ヤツメカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
38. *Glenea relicta* (PASCOE)  
シラホシカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
39. *Nupserha marginella*  
ヘリゲロリンゴカミキリ  
15-VI, 86, 浅岡。
- 以上 39 種であるが、松野 (1978) には今回採集されなかったツヤケシハナ、ヒメスギ、ワモンサビ、チャボヒゲナガの 4 種が含まれているので、舟着山のカミキリムシは 43 種が確認されたことになる。
- \*) 松野更一 (1978) 舟着山のコガネムシとカミキリムシ。三河昆虫研究会採集ニュース 2: 30~32。

## 船着山で採集した甲虫類

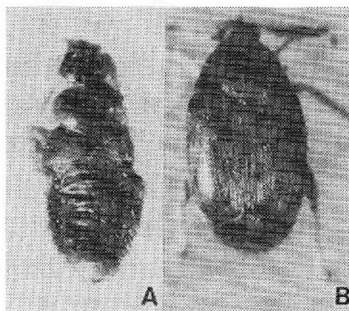
穂積俊文

私は1978年5月21日、本会の船着山採集会に参加した。同行者の松野、山崎、浅岡の諸氏は既に「採集ニュース」2号と3号に発表されている。私のデータを眠らせるのも心残りであり、少々古い記録ながらまとめてみた。標本はすべて私が所有している。学名と和名は原色日本甲虫図鑑(保育社 1984-86)によった。

- 1) *Carabus arrowianus arrowianus* (Breuning) ミカワオサムシ
- 2) *Amara chalcites* Dejean マルガタゴミムシ
- 3) *Colpodes japonicus* (Motschulsky) ハラアカモリヒラタゴミムシ
- 4) *Lebia bifenestrata* Morawitz フタホシアトキリゴミムシ
- 5) *Lebia retrofasciata* Motschulsky ジュウジアトキリゴミムシ
- 6) *Parena caipennis* (Bates) ヒラタアトキリゴミムシ
- 7) *Proteinus crassicornis* Sharp チビハバビロハネカクシ (図A)
- 8) *Ectinohoplia obducta* (Motschulsky) ヒメアシナガコガネ
- 9) *Paraserica gricea* Motschulsky ハイイロビロウドコガネ
- 10) *Nipponovalgus angusticollis* (Waterhouse) ヒラタハナムグリ
- 11) *Oxycetonia jucunda* (Faldermann) コアオハナムグリ
- 12) *Agrius tempestivus* Lewis ウグイスナガタマムシ
- 13) *Trachys tsushimae* Obenberger アカガネチビタマムシ
- 14) *Ampedus carbunculus* (Lewis) ヒメクロコメツキ
- 15) *Dolerosomus gracilis* (Candèze) キバネホソコメツキ
- 16) *Ectinoides insignitus* (Lewis) ヨツキボシコメツキ
- 17) *Lyponia quadricollis* (Kiesenwetter) カクムネベニボタル
- 18) *Athemus vitellinus* (Kiesenwetter) セボシジヨウカイ
- 19) *Eपुरaea domina* Reitter ヒメヒラタケシキスイ
- 20) *Meligethes violaceus* Reitter キベリチビケシキスイ
- 21) *Biphyllus rufopictus* (Wollaston) ハスモンムクゲキスイ
- 22) *Languriomorpha lewisi* (Crotch) ルイスコメツキモドキ
- 23) *Amide tricolor* (Harold) アミダテントウ
- 24) *Illeis koebelei* Timberlake キイロテントウ
- 25) *Anaspis frontalis* (Linné) オオクロフナガタハナノミ
- 26) *Oedemeronia manicata* (Lewis) キアシカミキリモドキ
- 27) *Cyrtoclytus caproides* Bates キスジトラカミキリ
- 28) *Microlera ptinoides* Bates ヒシカミキリ
- 29) *Lema honorata* Baly ヤマイモハムシ
- 30) *Demotina fasciculata* Baly マダラアラゲサルハムシ
- 31) *Gonioctena nigroplagiata* Baly ヤツボシハムシ
- 32) *Pyrrhalta semi fulva* (Jacoby) ア

- カタデハムシ
- 33) *Aulacophora nigripennis* Motschulsky クロウリハムシ
- 34) *Arthrotus niger* Motschulsky ムナグロツヤハムシ
- 35) *Aphthona perminuta* Baly ツブノミハムシ
- 36) *Hemipyxis plagioderodes* (Motschulsky) ヒゲナガルリマルノミハムシ
- 37) *Daetylispa masonii* Gestro キベリトゲハムシ
- 38) *Euops splendidus* Voss カシルリオトシブミ
- 39) *Euops lespedezae* Sharp ハギルリオトシブミ
- 40) *Myloccerus griseus* Roelofs カシワクチブトゾウムシ
- 41) *Dermatoxenus caesicollis* (Gyllenhal) ヒメシロコブゾウムシ
- 42) *Dyscerus elongatus* (Roelofs) ホソアナアキゾウムシ

- 43) *Curculio styracis* (Roelofs) エゴシギゾウムシ
- 44) *Bruchidius terreus* (Sharp) ネムノキマメゾウムシ (図B)



以上44種を記録した。個体数は大部分が1～2頭で、未同定標本も2種あり。注目すべき種としては、チビハバビロハネカクシ (図A) (沢田高平氏同定)、ヨツキボシコメツキ (大平仁夫氏同定)、ヤツボシハムシ、エゴシギゾウムシ、ネムノキマメゾウムシ (図B) などであらう。

## 船着山のコメツキムシ類

大平仁夫

船着山のコメツキムシ類は今度の調査で21種が確認された。この中には特殊なものは存在しないが、ドウガネヒラタコメツキのようなやや山地性のが入りこんでいる。しかし、大体において低地山林性のものが主流を占めているように思われる。フタモンウバタマコメツキが再確認されたこと、ナガチャクシコメツキやヒラタクシコメツキが多く産することなどは、この本科の分布の一つの特性と思われる。

### 種の目録

1. ヒゲコメツキ *Pectocera fortunei* Candèze

10-V, 86 (5), 大平。

2. フタモンウバタマコメツキ *Paracalais larvatus pini* (Lewis) (図A)  
15-VII, 86 (1), 竹内; 12-VII, 86 (1), 山崎;  
27-VII, 86 (1), 松野。

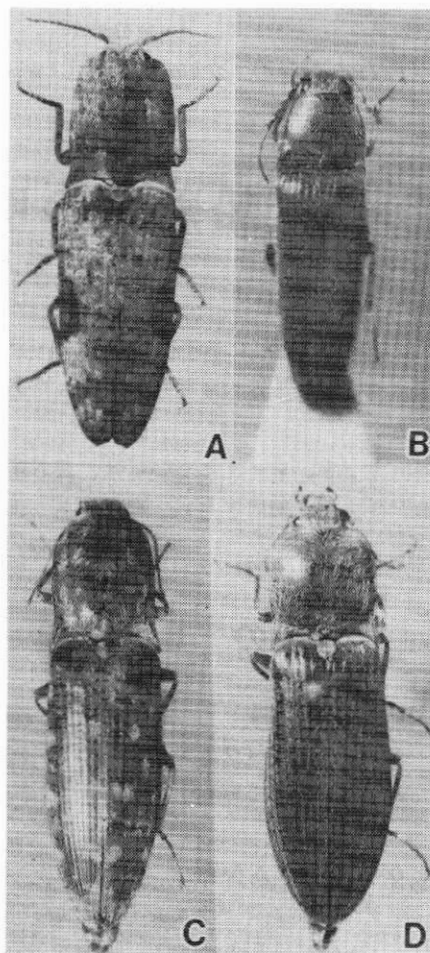
本種については荒川 (1951) が船着山から記録しているが、その後再確認されていなかった。

3. サビキコリ *Agrypnus (Agrypnus) binodulus* (Motschulsky)  
10-V, 86 (2), 大平; 15-VI, 86 (1), 浅岡;  
3-VIII, 86 (1), 浅岡。
4. タテジマカネコメツキ *Gambrinus*

- vittatus* (Candèze)  
4-V, 86 (1), 山崎; 29-IV, 86 (4), 浅岡。  
4月下旬から5月上旬にかけてみられる。
5. オオツヤハダコメツメ *Stenagostus umbratilis* (Lewis)  
12-VII, 86 (3), 山崎。  
夜間採集で飛来した。
6. ニホンベニコメツキ *Denticollis nipponensis* Ôhira  
29-IV, 86 (6), 浅岡; 10-V, 86 (2), 大平。  
このような低地で本種がよく見出されるのは珍しいことである。
7. オオヒラタコメツキ *Paraphotistus praenobilis* (Lewis) (図D)  
10-V, 86 (2), 大平。  
この地方としては少ない種である。
8. ドウガネヒラタコメツキ *Corymbitodes gratus* (Lewis)  
13-IV, 86 (1), 浅岡。
9. オオシモフリコメツキ *Actenicerus orientalis* (Lewis) (図C)  
29-IV, 86 (3), 大平; 10-V, 86 (5), 大平;  
15-VI, 86 (1), 浅岡。  
ここでは個体数が多い。
10. シモフリコメツキ *Actenicerus pruinus* Motschulsky  
29-IV, 86 (4), 大平; 18-V, 86 (1), 浅岡  
前種よりも個体数が少ない。
11. ヒラタクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) correctus* Candèze  
29-IV, 86 (3), 大平; 18-V, 86 (2), 山崎。  
ここでは普通の種である。
12. クロクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) senilis* Candèze  
15-VI, 86 (1), 浅岡。  
ここでは個体数が少ない。
13. ナガチャクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) spernendus* Candèze (図B)  
29-IV, 86 (1), 大平; 18-V, 86 (1), 浅岡。

4月下旬頃から5月にかけてよく見出される。三河地方では比較的少ない種である。

14. クシコメツキ *Melanotus (Melanotus) legatus* Candèze  
29-IV, 86 (1), 山崎。  
わずかに1頭見出されたのみである。
15. アカアシオオクシコメツキ *Melanotus (Spheniscosomus) cete* Candèze  
10-V, 86 (2); 15-IV, 86 (5), 浅岡。  
普通の種である。
16. ヒラタクシコメツキ *Melanotus (Spheniscosomus) koikei* Kishii et Ôhira  
26-IV, 86 (2), 山崎; 18-V, 86 (1), 山崎。  
ここではよく見出される。三河地方では比較的少ない種である。



17. コガタクシコメツキ *Melanotus*  
(*Kensakulus*) *erythropygus* Candèze  
10-V, 86 (1), 大平。  
普通の種である。
18. ミドリヒメコメツキ *Vuilletus viridis*  
(Lewis), var. *subopacus* Nakane  
29-IV, 86 (2), 大平。  
この地方では普通に見出される。
19. キバネホソコメツキ *Dolelosomus*  
*gracilis* (Candèze)  
29-IV, 86 (1), 大平; 10-V, 86 (1), 大平。  
4月から5月にかけて花上に普通である。
20. アカハラクロコメツキ *Ampe dus*  
(*Ampe dus*) *hypogasticus* (Candèze)  
29-IV, 86 (1), 大平; 18-V, 86 (1), 浅岡。  
普通の種である。
21. ヒメクロコメツキ *Ampe dus*  
(*Pseudelater*) *carbunculus* (Lewis)
- 13-IV, 86 (1), 浅岡; 4-V, 86 (1), 山崎; 15-VI, 86 (1), 浅岡。  
普通に見出される種である。
22. ヨツキボシコメツキ *Ectinoides*  
*insignitus* (Lewis)  
26-IV, 86 (2), 山崎; 18-V, 86 (1), 山崎。  
4月下旬頃から5月にかけて出現する。
- ここに記した採集者名は以下のようである。  
浅岡=浅岡孝知; 松野=松野更一、大平=大平仁夫; 竹内=竹内克豊; 山崎=山崎隆弘。なお、各種の採集月日と頭数は、その月の代表例にとどめてある。
- 〔引用文献〕  
荒川鳳三(1951) 三河地方の逐種の昆虫について、虫譜、1(1): 26~28。

## 船着山の甲虫 (ゾウムシ類)

浅岡孝知

1986年度、船着山における調査の結果、ゾウムシ類について、ある程度明らかになったので報告する。

尚、本文中、データについては、最も新しいもの、代表的な例にとどめ、採集者名: 山崎以外は筆者を示す。

### 種の目録

#### マメゾウムシ科

1. チャバラマメゾウムシ *Callosobruchus*  
*ademptus* (Sharp) 8-V, 86 (1)。

#### ヒゲナガゾウムシ科

1. マダラヒゲナガゾウムシ *Opanthribus*  
*tessellatus* (Boheman) 27-IV, 86 (2)。

2. シロヒゲナガゾウムシ *Platys tomos*  
*sellatus* (Roelofs) 29-IV, 86  
(1), 山崎。

3. セマルヒゲナガゾウムシ *Phloeobius*  
*gibbosus* Roelofs 15-IV, 86 (2)。

4. シリジロヒゲナガゾウムシ *Androceras*  
*flavellicornis* (Sharp) 26-V, 86 (1)。

5. カオジロヒゲナガゾウムシ *Litocerus*  
*laxus* Sharp 29-IV, 86 (1)。

#### オトシブミ科

1. ファウストハマキチョッキリ *Byctiscus*  
*fausti* Sharp 27-IV, 86 (3)。  
2. ブドウハマキチョッキリ *Aspidobyctiscus*  
*lacunipennis* (Jekel) 21-V, 78 (2)。  
3. チャイロチョッキリ *Aderorhinus*



- crioceroides* Roelofs
4. ルリホソチョッキリ *Eugnamptus amurensis* (Faust) 15-V, 86 (1)。
  5. コナライクビチョッキリ *Deporaus unicolor* (Roelofs) 27-IV, 86 (1)。
  6. ルリイクビチョッキリ *Deporaus mannerheimi* (Hume) 21-V, 78 (1)。
  7. マルムネチョッキリ *Chonostropheus chujoi* Voss 13-IV, 86 (1)。
  8. カシルリオトシブミ *Neocoenorrhinus assimilis* (Roelofs) 27-IV, 86 (1)。
  9. グミチョッキリ *Involvulus funebris* (Sharp) 15-V, 86 (1)。
  10. クチナガチョッキリ *Involvulus plumbeus* (Roelofs) 4-V, 80 (1), 山崎。
  11. モモチョッキリ *Rhynchites heros* Roelofs 26-IV, 86 (1), 山崎。
  12. ヒメクロオトシブミ *Apoderus erythrogaster* Vollenhoven 27-IV, 86 (3)。
  13. ヒゲナガオトシブミ *Paratrachelophorus longicornis* (Roelofs) 4-V, 80 (1), 山崎。
  14. アシナガオトシブキ *Phialodes rufipennis* Roelofs 29-IV, 86 (1)。
  15. ウスモンオトシブミ *Apoderus balteatus* Roelofs 15-V, 86 (1)。
  16. アカクビナガオトシブミ *Paracentrocorynns nigricollis* (Roelofs) 29-IV, 86 (3)。
  17. ハギツルクビオトシブミ *Pachybrachys eruditus* Baly 29-IV, 86 (3)。
- ホソクチゾウムシ科
1. マメホソクチゾウムシ *Apion collare* Schilsky 15-V, 86 (1)。
  2. ケバカホソクチゾウムシ *Apion ggriseopubesens* Roelofs 15-V, 86 (1)。
- ゾウムシ科
1. カシワクチフトゾウムシ *Myllocerus griseus* Roelofs 13-IV, 86 (1)。
  2. ツンフトクチフトゾウムシ *Myllocerus nipponensis* Zumpt 27-IV, 86 (1)。
  3. ヒメシロコブゾウムシ *Dernatoxenus caesicollis* (Gyllenhal) 27-IV, 86 (3)。
  4. クワヒョウタンゾウムシ *Scepticus insularis* Roelofs 27-IV, 86 (1)。
  5. コフキゾウムシ *Eugnathus distinctus* Roelofs 15-V, 86 (1)。
  6. ハスジカツオゾウムシ *Lixus acutipennis* Roelofs 15-V, 86 (1)。
  7. オオゴボウゾウムシ *Larinus meleagris* Petri 21-V, 78 (1), 山崎。
  8. オオジロアシナガゾウムシ *Mecyso lobuserro* (Pascoe) 16-V, 82 (1)。
  9. オジロアシナガゾウムシ *Mesalcidodes trifidus* (Pascoe) 15-V, 86 (1)。
  10. タカハシトゲゾウムシ *Dinorhopala takahashii* (Kôno) 21-V, 78 (1), 山崎。
  11. コブノコギリゾウムシ *Ixalme hilleri* Roelofs 21-V, 78 (1), 山崎。
  12. イチゴハナゾウムシ *Anthonomus bisignifer* Schenkling 27-IV, 86 (2)。
  13. ジュウジチビシギゾウムシ *Curculio pictus* (Roelofs) 18-V, 86 (1)。
  14. セダカシギゾウムシ *Curculio convexus* (Roelofs) 27-IV, 86 (2)。
  15. エゴシギゾウムシ *Curculio styracis* (Roelofs) 16-V, 82 (1)。
  16. ツバキシギゾウムシ *Curculio camelliae* (Roelofs) 18-V, 86 (1)。
  17. ナツグミシギゾウムシ *Curculio elaeagni* Morimoto 29-IV, 86 (1)。
  18. ツツジトゲムネサルゾウムシ *Mecysmoderes fulvus* Roelofs 27-IV, 86 (1)。
  19. アトジロカレキゾウムシ *Acicnemis dorsonigrita* Voss 27-IV, 86 (1)。
  20. アカコブコブゾウムシ *Kobuzorectirostris* (Roelofs) 26-IV, 86 (1), 山崎。
  21. マツアナアキゾウムシ *Hylobitelus haroldi* (Faust) 16-V, 82 (1)。

22. クスアナアキゾウムシ *Dyscerus orientalis* (Motschulsky) 27-IV, 86 (1)。  
 23. ホソアナアキゾウムシ *Dyscerus elongatus* (Roelofs) 18-V, 86 (1)。  
 24. クロクチカクシゾウムシ *Catagmatus japonicus* Roelofs 15-VI, 86 (1)。  
 25. アシナガオニゾウムシ *Gasterocercus longipes* Kôno 12-VII, 86 (1)。  
 26. マツノシラホシゾウムシ *Shirahoshizo insidiosus* (Roelofs) 29-IV, 86 (1)。  
 27. ハスジクチカクシゾウムシ *Cryptorhynchus fasciculatus* (Roelofs) 29-IV, 86 (1)。  
 28. チャバネキクイゾウムシ *Heterathrus lewisii* Wollaston 27-IV, 86 (1)。

29. リンゴコフキゾウムシ *Phyllobius armatus* (Roelofs) 27-IV, 86 (1)。

#### オサゾウムシ科

1. スギキクイサビゾウムシ *Dryophthorus japonicus* Konishi 27-IV, 86 (1)。  
 2. トホシオサゾウムシ *Aplotes roelofsi* (Chevrolat) 18-V, 86 (1), 山崎。

以上6科56種を確認したことになる。これから、本地方の調査資料の参考になれば幸いである。尚、未筆ながら、心よく資料を供与していただいた山崎隆弘氏にお礼を申し上げる。

## 船着山の甲虫類 (タマムシ科)

浅岡孝知

1986年度の調査により、船着山のタマムシ類について、ある程度まとまったので、手元にある資料をまとめ報告する。

尚、データについては、手元の資料中一番新しいものととどめ、文中の採集者名は、水野=水野宏、大平=大平仁夫氏の略であり、その他は筆者である。

### 種の目録

#### タマムシ科

1. タマムシ *Chrysochroa fulgidissima* (Schönherr) 5-X, 86 (1), 水野。  
 2. クロナガタマムシ *Agrilus cyaneoniger* E. Saunders 16-V, 86 (1)。  
 3. アオマダラタマムシ *Nipponoauprestis amabilis* (Snellen van Vollenhoven) 15-VI, 86 (1)。西日本には多いが比較的稀。  
 4. シロテンナガタマムシ *Agrilus sospes*

Lewis 18-V, 86 (1)。

5. ヒシモンナガタマムシ *Agrilus discalis* E. Saunders 27-IV, 86 (1)。  
 6. ウゲイスナガタマムシ *Agrilus tempestivus* Lewis 18-V, 86 (1)。  
 7. シロオビナカボソタマムシ *Coraeus quadriundulatus* Motschulsky 10-V, 86 (1), 大平。  
 8. ヤノナミガタチビタマムシ *Trachys yanoi* Y. Kurosawa 15-VI, 86 (1)。  
 9. ダンダラチビタマムシ *Trachys variolaris* E. Saunders 27-IV, 86 (3)。  
 10. ハイイロヒラタチビタマムシ *Habroloma griseonigrum* (E. Saunders) 15-VI, 86 (3)。  
 以上1科10種を報告するにとどまったが、今後更に調査を続けていく中で、かなりの種が追加されると思われる。未筆ながら、本報を草するにあたり、心よく資料を供与していただいた大平仁夫、水野宏両氏にお礼申し上げます。

## 船着山の雑甲虫

大平仁夫

1. ニホンホホビロコメツキモドキ *Dauledaya bucculenta* (Lewis) (コメツキモドキ科)  
18-V, 86 (1), 浅岡。  
本種についてはすでに山崎 (三河の昆虫, 21:81~83, 1978) に船着山から採集の報告があるが、今度の調査でも1頭山崎氏が採集された。
2. ルイスコメツキモドキ *Languriomorpha lewisi* (Crotch) (コメツキモドキ科)  
29-VI, 86 (3), 浅岡。  
ここではよく見出される種である。
3. キムネヒメコメツキモドキ *Anadastus atriceps* (Crotch) (コメツキモドキ科)  
18-V, 86 (1), 浅岡。  
個体数が少なく、1頭がとれたのみである。
4. カタモンミナミボタル *Drilaster axillaris* Kiesenwetter (ホタル科)  
15-VI, 86 (2), 浅岡。  
個体数はあまり多くない。
5. カクムネベニボタル *Lyponia quadricollis* (Kiesenwetter) (ベニボタル科)  
29-IV, 86 (2), 山崎; 10-V, 86 (6), 大平。  
4月から5月にかけて普通に見出される。
6. ヒメカクムネボタル *Lyponia osawai* Nakane (ベニボタル科)  
29-IV, 86 (2), 山崎; 10-V, 86 (1), 大平。  
前種より個体数が少ない。
7. キイロカミキリモドキ *Xanthochroa helleri* Harold (カミキリモドキ科)  
12-VII, 86 (1), 大平。  
個体数は多くない。
8. アオカミキリモドキ *Xanthochroa waterhousei* Harold (カミキリモドキ科)  
15-VI, 86 (10), 浅岡。  
普通に見出される。
9. アカハネムシ *Pseudopyrochroa vestiflua* (Lewis) (アカハネムシ科)  
29-IV, 86 (5), 山崎。  
普通に見出される。
10. ヒメジョウカイ *Micadocantharis japonica* (Kiesenwetter) (ジョウカイボン科)  
29-IV, 86 (3), 大平; 26-VII, 86 (1), 山崎。  
山林中に多い。
11. セボシジョウカイ *Athemus vitellinus* (Kiesenwetter) (ジョウカイボン科)  
10-V, 86 (1), 大平。  
前種に混って見出される。
12. ヒラタドロムシ *Mataeopsephus japonicus* Matsumura (ヒラタドロムシ科)  
12-VII, 86 (6), 大平。  
燈火採集で見出された。
13. ミスジミゾドムシ科 *Ordobrevia foveicollis* Schonfeldt (ヒメドロムシ科)  
12-VII, 86 (6), 大平。  
燈火採集で見出された。

## 船着山の蝶類

水野 宏

第2回船着山合同調(5月18日)に参加し、さらに9月5日と10月15日にも調査を行ないました。3回の調査とも晴天にめぐまれ、9月5日にはミカン畑にアゲハ、クロアゲハ、カラスアゲハが多く発生しており、10月15日には落下した熟柿にルリタテハやアカタテハが群っていました。

## あげはちょう科

1. シャコウアゲハ *Atrophaneura aleinous* Kluy 18-V, 86。
2. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon* Linné 18-V, 86; 5-K, 86。
3. キアゲハ *Papilio machaon* Linné 18-V, 86。
4. アゲハ *Papilio xuthus* Linné 5-K, 86。
5. モンキアゲハ *Papilio helenus* Linné 5-K, 86。
6. クロアゲハ *Papilio protenor* Cramer 18-V, 86; 5-K, 86。
7. オナガアゲハ *Papilio macilentus* Janson 18-V, 86。
8. カラスアゲハ *Papilio bianor* Cramer 5-K, 86。
9. ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii* Ménétriés 18-V, 86。

## しろちょう科

1. モンキチョウ *Colias (Colias) erate* Esper 18-V, 86; 5-K, 86; 15-X, 86。
2. ツマグロキチョウ *Eurema (Nirmula) laeta* Boisduval 5-K, 86; 15-X, 86。
3. キチョウ *Eurema (Terias) hecabe* Linné 18-V, 86; 5-K, 86; 15-X, 86。

4. スジグロシロチョウ *Pieris (Artageili) napi* Linné 5-K, 86。
5. モンシロチョウ *Pieris (Artogeia) rapae* Linné 18-V, 86; 5-K, 86; 15-X, 86。

## しじみちょう科

1. ベニシジミ *Lycaena phlaeas* Linné 18-V, 86; 5-K, 86; 15-X, 86。

## うらぎんしじみ科

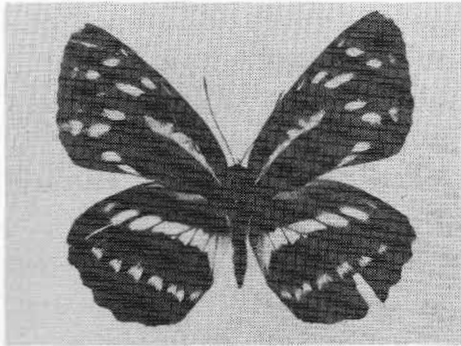
1. ウラギンシジミ *Curetis acuta* Moore 5-K, 86。

## まだらちょう科

1. アサギマダラ *Parantica sita* Kollar 15-X, 86。

## たてはちょう科

1. オオウラギンスジヒョウモン *Argyronome rusiana* Motschubky 5-K, 81。
2. クモガタヒョウモン *Nephargynnis anadyomene* C&R. Felder 5-K, 86。
3. ミドリヒョウモン *Argynnis paphia* Linné 5-K, 86。
4. アサマイチモンジ *Limenitis (Ladoga) glorifica* Fruhstorfer 5-K, 86。
5. イチモンジチョウ *Limenitis (Ladoga) camilla* Linné 5-K, 86。
6. コミスジ *Neptis sappho* Pallas 18-V, 86; 5-K, 86。
7. オオミスジ *Neptis alwina* Bremer & Grey 18-V, 86。



オオミスジ

8. サカハチチョウ *Arashnia burejana*  
Bremer 5-K, 86; 15-X, 86。
9. ルリタテハ *Kaniska canace* Linné  
15-X, 86。
10. アカタテハ *Vanessa indica* Herbst  
15-X, 86。
11. コラムサキ *Apatura metis* Freyer  
5-K, 86。

12. ジャノメチョウ *Minois dryas*  
Scopoli 15-X, 86。
13. クロヒカゲ *Lethe diana* Butler  
5-K, 86。
14. ヤマキマダラヒカゲ *Neope niphonica*  
Butler 5-K, 86。
15. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama*  
Moore 18-V, 86; 5-K, 86。

せせりちょう科

1. ダイミョウセセリ *Daimio teshys*  
Menetries 18-V, 86; 15-X, 86。
2. アオバセセリ *Choaspes benjaminii*  
Guerin-Meneville 18-V, 86。
3. イチモンジセセリ *Parnara guttata*  
Bremer & Grey 15-X, 86。

船着山の半翅目

(キジラミ・アブラムシ等を除く)

浅岡孝知

船着山における採集ニュースとして、筆者は78年に8種を報告している。今年度の調査により、ある程度、その概要が明らかになったので報告する。

種 の 目 録

ツチカメムシ科

1. ツチカメムシ *Macroscytus japonensis*  
Scott 3-III, 86 (1)。

マルカメムシ科

1. マルカメムシ *Coptosoma punctissimum*  
Montandos 29-IV, 86 (5)。

カメムシ科

1. ツヤマルシラホシカメムシ *Eysarcoris fallax* Breddin 18-V, 86 (5)。
2. ウシカメムシ *Alcimocoris japonensis*  
Scott (図A) 18-V, 86 (1)。稀な種。過去に山崎、大平両氏の記録あり。
3. クサギカメムシ *Halyomorpha brevis*  
Walker 12-VII, 86 (2)。
4. チャバネアオカメムシ *Plautia crossata*  
Dallas 15-IV, 86 (2)。

ツノカメムシ科

1. モンキツノカメムシ *Sastragala scutellata* Scott (図B) 15-VI, 86 (1)。

エサキモンキツノカメムシにくらべて少ない

種。

2. アオモンツノカメムシ *Dichobothrium nubilum* Dallas 12-VII, 86 (1), 山崎。

### ヘリカメムシ科

1. オオヘリカメムシ *Molipteryx fuliginosa* Uhler (図C) 21-V, 78 (1)。  
調査では確認できなかった。
2. ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus unipunctatus* Thunberg 4-X, 86 (1)。
3. オオクモヘリカメムシ *Anacanthocoris striicornis* Scott 15-IV, 86 (1)。  
普通に見られるが、個体数は少ない。
4. ツマキヘリカメムシ *Hygia opaca* Uhler 18-V, 86 (7)。
5. オオツマキヘリカメムシ *Colpura lativentris* Motschulsky (図D) 27-IV, 86 (1)。  
ツマキヘリカメムシにくらべて少ない。
6. ホソハリカメムシ *Cletus trigonus* Thunberg 4-X, 86 (1)。
7. ハリカメムシ *Cletus rusticus* Stal (図E) 29-IV, 86 (1)。  
ホソハリカメムシにくらべて少ない。
8. ヒメクモヘリカメムシ *Paraplesius unicolor* Scott 21-V, 78 (1)。
9. クモヘリカメムシ *Leptocorixa corbetti* China 4-X, 86 (1)。
10. ホソヘリカメムシ *Riptortus clavatus* Thunberg 4-X, 86 (1)。
11. ブチヒゲヘリカメムシ *Stictopleurus crassicornis* Linne 18-V, 86 (3)。

### イトカメムシ科

1. イトカメムシ *Yemma exilis* Horváth 4-X, 86 (1)。  
三河の低地では比較的少ない。

### ナガカメムシ科

1. ヒメナガカメムシ *Nysius plebejus*

Distant 4-X, 86 (1)。

2. メダカナガカメムシ *Chauliops fallax* Scott 4-X, 86 (5)。
3. チャイロナガカメムシ *Neolethaeus dellais* Scott 12-VII, 86 (5)。
4. ムラサキナガカメムシ *Pylorgus colon* Thunberg 21-V, 86 (5)。
5. セスジナガカメムシ *Arocatus melanostomus* Scott (図F) 15-IV, 86 (1)。
6. アカヘリナガカメムシ *Arocatus sericans* Stal 18-V, 86 (1)。
7. オオメナガカメムシ *Geocoris varius* Uhler 4-X, 86 (1)。
8. ヒゲナガカメムシ *Pachygrontha antennata antennata* Uhler 29-IV, 86 (3)。  
湿地のイネ科植物に普通。
9. ヒョウタンナガカメムシ *Eucosmetus albomarginatus* Scott 29-IV, 86 (1)。
10. サビヒョウタンナガカメムシ *Pachybrachius rusticus* Scott 13-VII, 83 (1)。
11. コバネヒョウタンナガカメムシ *Togo hemiptera* Scott 4-X, 86 (2)。
12. クロアシホソナガカメムシ *Paromius exiguns* Distant 4-X, 86 (1)。
13. オオチャイロナガカメムシ *Lethaeus assamensis* Distant (図G) 12-VII, 86(9)。  
三河の低山地に普通。

### オオホシカメムシ科

1. オオホシカメムシ *Physopelta gutta* Burmeister 4-X, 86 (1)。
2. ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis* Stal 15-VI, 86 (4)。

### ヒラタカメムシ科

1. イボヒラタカメムシ *Usingeride verrucigera* Bergroth 18-V, 86 (2)。  
キノコに寄生している。
2. ノコギリヒラタカメムシ *Aradus*

*orientalis* Bergfoth (図H)

29-IV, 86 (1)。

樹皮から得る。

### ゲンバイムシ科

1. ヒメゲンバイ *Uhlerites debile* Uhler  
4-X, 86 (2)。

### サシガメ科

1. シマサシガメ *Sphedanolestes impressicollis* Stal 18-V, 86 (3)。
2. アカサシガメ *Cydnocoris russatus* Stal 27-IV, 86 (6)。  
低山地に普通に産するが、特に多い。
3. ヒゲナガサシガメ *Endochus stalianus* Horvath (図I) 15-VI, 86 (1)。  
稀な種で、三河地方初記録。

### マキバサシガメ科

1. コバネマキバサシガメ *Nabis apicalis* Matsumura 29-IV, 86 (2)。
2. アカマキバサシガメ *Gorpis brevilineatus* Scott 4-X, (1)。  
低地に普通に見られるが、特に多い。

### メクラカメムシ科

1. フタモンアカメクラガメ *Lygus (Apolygus) adustus hilaris* Horvath  
4-X, 86 (1)。
2. ヒメセダカメクラガメ *Charagochilus angusticollis* Linnavuori  
29-IV, 86 (1)。

### アメンボ科

1. アメンボ *Gerris (Aguarius) paludum insularis* Motschulsky 27-IV, 86 (1)。

### セミ科

1. アブラゼミ *Graptopsaltria nigrofuscata* Motschulsky 3-VIII, 86 (1)。

2. ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi* Fabricius 3-VIII, 86 (1)。

3. ミンミンゼミ *Oncotympana maculaticollis* Motschulsky 21-VIII, 86。  
鳴き声確認。

### ツノゼミ科

1. トビイロツノゼミ *Machaerotypus sibiricus* Lethierry 6-IV, 86 (2)。

### アワフキムシ科

1. ホシアワフキ *Atuphora stictica* Matsumura 4-X, 86 (1)。
2. アエキアワフキ *Aphrophora costalis* Matsumura 12-VII, 86 (1)。

### コガシラアワフキムシ科

1. コガシラアワフキ *Euscartopsis assimilis* Uhler 12-VII, 86 (3)。

### ミミズク科

1. ミミズク *Ledra auditura* Walker  
12-VII, 86 (1)。
2. コミミズク *Petaloccephala discolor* Uhler 4-X, 86 (1)。

### ヨコバイ科

1. ツマグロヨコバイ *Nephotettix cincticeps* Uhler 3-VIII, 86 (6)。

### シダヨコバイ科

1. シダヨコバイ *Japanagallia pteridis* Matsumura 13-IV, 86 (3)。

### オオヨコバイ科

1. ツマグロオオヨコバイ *Bothrogonia japonica* Ishihara 4-X, 86 (1)。
2. オオヨコバイ *Tettigella viridis* Linne 3-VIII, 86 (1)。
3. マエジロオオヨコバイ *Kolla atramentaria*

Motschulsky 27-IV, 86 (2)。

#### クロヒラタヨコバイ科

1. クロヒラタヨコバイ *Penthimia nitide*  
Lethierry 29-IV, 86 (2)。

#### アオズキンヨコバイ科

1. アオズキンヨコバイ *Stragania mudus*  
Uhler 12-VII, 86 (4)。

#### ハゴロモ科

1. ベッコウハゴロモ *Ricania japonica*  
Melichar 3-VIII, 86 (1)。

#### アオバハゴロモ科

1. トビイロハゴロモ *Mimophantia maritima*  
Matsumura 4-X, 86 (2)。
2. アオバハゴロモ *Geisha distinctissima*  
Waker 4-X, 86 (1)。

#### ハネナガウンカ科

1. アヤハリハネナガウンカ *Losbanosia*  
*hibarensis* Matsumura 12-VII, 86 (1)。  
稀。
2. アカメガシワハネナガウンカ *Vekunta*  
*malloti* Matsumura 4-X, 86 (2)。

#### マルウンカ科

1. マルウンカ *Gergithus variabilis*  
Bulter 15-VI, 86 (2)。

#### ヒシウンカ科

1. ハスオビヒミウンカ *Betacirius*  
*obligans* Matsumura 15-VI, 86 (3)。

#### ウンカ科

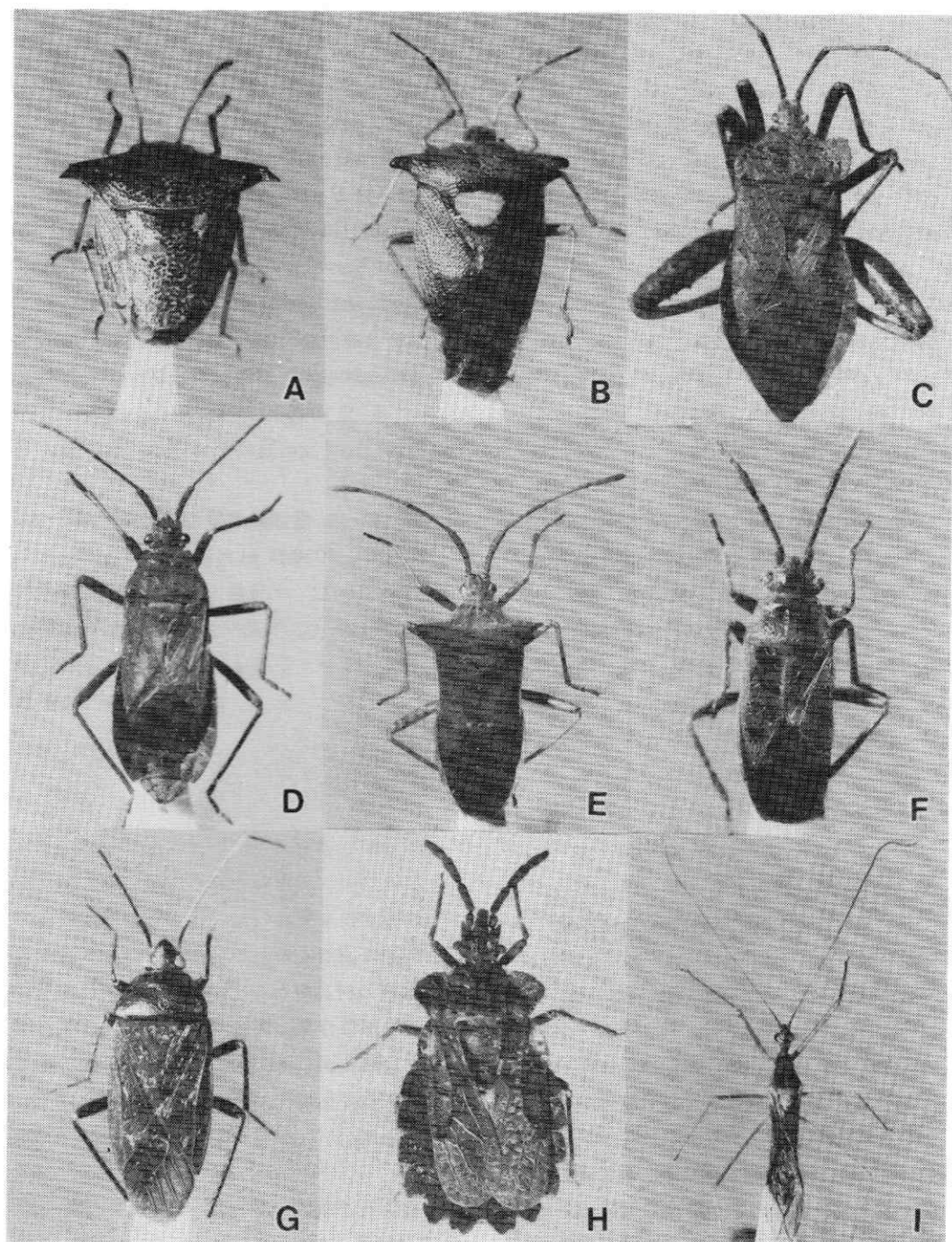
1. セジロウンカ *Sogatella furcifera*  
Horvath 4-X, 86 (1)。

#### ゲンバイウンカ科

1. タテスジウンカ *Catullia vittata*  
Matsumura 4-X, 86 (1)。
2. ヒラタゲンバイウンカ *Ossoides*  
*liveatus* Bierman 4-X, 86 (1)。

以上31科72種を記録したことになるが、未同定の分を残し、今後相当な種数に上るものと思われる。船着山には、かなりの山地性の種と平地産の種とが混生しており興味深い。ともあれ船着山の昆虫を知る上の一助となれば幸いである。尚、未筆ながら資料等を心よく提供して下さった大平仁夫、山崎隆弘両氏にお礼を申し上げる。





A. ウシカメムシ      B. モンキツノカメムシ      C. オオヘリカメムシ  
 D. オオツマキヘリカメムシ      E. ハリカメムシ      F. セスジナガカメムシ  
 G. オオチャイロナガカメムシ      H. ノコギリヒラタカメムシ      I. ヒゲナガサシガメ

## 船着山で採集したカミキリムシ・リスト

西川 誠

ヒシカミキリ *Microlera ptinoides* Bates  
27 IV 1986 1ex。

ミヤママルリハナカミキリ *Kanekoa azumienis*  
(Matsushita et Tamanuki)

5 V 1986 多数。

キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens*  
Bates 5 V 1986 多数。

セスジヒメハナカミキリ *Pidonia* (*Cryptopi-*  
*donia*) *amentata* Bates

5 V 1986 2♂♂♀♀。

トゲヒゲトラカミキリ *Demonax* (*Demonax*)  
*transillis* Bates 5 V 1986 多数。

ヒメクロトラカミキリ *Rhaphuma diminuta*  
(Bates) 5 V 1986 多数。

シラケトラカミキリ *Clytus melaenus*  
Bates 5 V 1986 1ex。

カエデノヒゲナガコバネカミキリ *Molorcheus*  
*ishiharai* Ohbayashi 5 V 1986 多数。

オダヒゲナガコバネカミキリ *Molorcheus*  
*gracillis* Bates 5 V 1986 多数。

コジマヒゲナガコバネカミキリ *Molorcheus*  
*kojimai* (Matsushita) 5 V 1986 1ex。

ベニカミキリ *Purpuricenus* (*Sternoplistes*)  
*temminckii* (Guerch—Meneville)

5 V 1986 1ex。

## 短 報

矢作川堤防で  
ジャコウアゲハ大発生

小 鹿 登 美

ジャコウアゲハは県内に広く分布しているが、三河平野部では近年あまりその姿を見かけなくなってきた蝶のひとつである。ところが筆者は1986年5月から10月にかけてきわめて多数のジャコウアゲハを安城市木戸町から岡崎市下佐々木町・渡町の矢作川の堤防において観察しているので報告したい。

堤防の斜面上に自生する食草ウマノズクサには多数の幼虫が発生しており、ススキやクズにもおびただしい数の蛹を発見した。7月下旬

には一部の場所で食草を食べ尽くしてしまった多数の幼虫が、新たな食草を求めてあたりを這い回る光景も見られた。しかも第二化成虫の発生時期の直前にあたる7月下旬から8月上旬に安城市の村高町から木戸町にかけての場所は、堤防の除草作業の影響で食草もろとも大打撃をこうむったが、8月の下旬から9月にかけての第三化の発生期には再び多数の成虫を見ることができた。

(採集及び観察の記録)

17-MAY, 1986 採集 (下佐々木町) 1♂

3♀ 全てかなり破損した個体であった。

21-JULY, 1986 (下佐々木町から木戸町)

ウマノズクサに多数の幼虫を発見。

30-JULY, 1986採集 2♂ (木戸町) 堤防で

極めて多数のさなぎを発見した。1m四方に30を越すさなぎが発見されるところもあった。

4-AUG、1986 目撃 12♂ 6♀ 村高町から木戸町までの堤防は除草作業のため、さなぎもその殆どが刈られた草の下敷になったために羽に奇形のあるものが多かった。

26-AUG、1986 採集 (下佐々木町・村高町) 2♂ 1♀ 他には成虫はみられなかった。

21-SEP、1986 目撃 32♂ (渡町から木戸町) 10♀ 多数の成虫を観察。

23-SEP、1986 目撃 40♂ 20♀ (渡町から木戸町) 多数の成虫を観察。

4-OCT、1986 採集 1♀ (下佐々木町)

5-OCT、1986 目撃 1♂ 4♀ (村高町・木戸町) この内2♀は飛び古した個体であった。

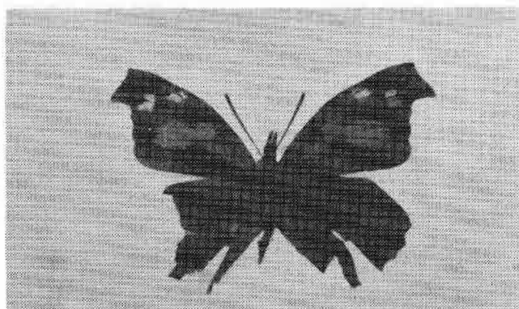
いまのところ食草のウマノズクサも豊富にあり越冬蛹も多数確認していることから、来年の発生も十分期待できるものと思われる。

(安城市住吉町2丁目3-19 第2中部マンションろー3)

## 安城市でテングチョウを採集

小 鹿 亨

筆者は安城市尾崎町熊野神社の境内においてテングチョウ *Libythea celtis celtoides* (FRUSTORFER) を採集しているので報告する。



28-April、1986 安城市尾崎町 1♀

エノキの周辺を飛び回っていたもので、写真のようにかなり羽が痛んだ越冬後の個体であった。

## キボシチビカミキリを豊田市で採集 河路掛吾

筆者は愛知県において記録の少ないキボシチビカミキリ *Sybra flavomaculata* Breuning を採集したので報告する。

1986年2月10日に豊田市元山中でアカマツの枯れ枝を調べ、材中に体長約12mmのカミキリの幼虫を数頭確認した。食樹共に持ち帰り管理したところ次のように羽化脱出した。

1 Ex. 26-V-1986

2 Exs. 3-IV-1986

また、同地のアカマツ枯れ枝より次の2種を採集しているのでこの機会に報告しておく。

1. カラフトヒゲナガカミキリ *Monochamus saltuarius* (Gebler)

1986年2月10日にアカマツ枯れ枝を採集。

1 Ex. 27-V-1986 羽化脱出

2. セミスジコブヒゲカミキリ *Rhodopina lewisii* (Bates)

1984年1月3日にアカマツ枯れ枝を採集。

1 Ex. 20-V-1986 羽化脱出

## 猿投山のノブドウで 採集したカミキリ

河路掛吾

筆者は1985年8月17日に豊田市猿投山の山頂付近でノブドウの枯れづるを採集し、下記のカミキリの羽化脱出を認めたので報告する。

1. アカネトラカミキリ *Brachylelytus singularis* Kraatz  
2 Exs. 20-IV-1986。
2. アカネカミキリ *Phymatodes maaki* (Kraatz)  
11 Exs. 20-IV-1986~27-IV-1986。
3. シロオビチビヒラタカミキリ *Phymatodes albicinctus* Bates  
1 Ex. 24-IV-1986。  
(〒486 春日井市勝川町2-1576)

## 豊田市のハウより 羽脱したカミキリ

河路掛吾

筆者は1986年2月10日に豊田市元山中においてハウの枯れ枝を採集し、下記のカミキリの羽化脱出を認めたので報告する。

1. フチグロヤツボシカミキリ *Pareutetrapha eximia* (Bates)  
1 Ex. 27-IV-1986。
2. ハウノキトゲバカミキリ *Romdibilis sapporensis* (Motsushita)  
12 Exs. 27-V-1986~21-VII-1986。  
(〒486 春日井市勝川町2-1576)

## 船着山で採集した *Molorcheus* (3種)

西川 誠

筆者は、三河昆虫研究会『新城市・船着山調査会』に数回参加し、カミキリムシを採集した。その中の *Molorcheus* を3種類報告する。

- 1) カエデノヒゲナガコバネカミキリ  
*Molorcheus ishiharai* (BATES)  
57 exs. 5V 1986。
- 2) オダヒゲナガコバネカミキリ  
*Molorcheus gracillis* (BATES)  
1 ex. 5V 1986。
- 3) コジマヒゲナガコバネカミキリ  
*Molorcheus kojimai* (MATSUSHITA)  
1 ex. 5V 1986。

これら3種は、船着山頂上近くのカエデの花より得た。4月27日に当地で採集した時はまだ、花もあまり咲いてなく、*Molorcheus* はあまり採集できなかった。しかし、5月5日に再び採集したところ、雨上がりで濡れていたにもかかわらず、ネットが黒くなるほど採集することが出来た。カエデの花は、すでに散りはじめていたが、このカミキリの数には驚ろかされた。そのほとんどが、カエデノヒゲナガコバネカミキリとミヤマルリハナカミキリであった。カエデノヒゲナガコバネカミキリは、局地的な分布を示し、数多く採集するのは比較的むずかしいカミキリである。船着山においては、カエデの木が少ないこともあり、このようにまとまって採集することが出来る。この日57exs.も採集したが、まだ、無数のカエデノヒゲナガコバネカミキリがネットに入ってきた。その中にオダヒゲナガコバネカミキリとコジマヒゲナガコバネカミキリを各1exs. 見い出すことが出来た。この2種類は非常に少ないと思われる。

末筆ながら発表を勧められ、色々と言をいただいた竹内克豊氏にお礼申し上げる。

(441-31 愛知県豊橋市大岩町沢渡 6-8)

## 額田郡・本宮山で ヒラヤマコブハナカミキリ を採集

西川 誠

筆者は、この地方で稀なヒラヤマコブハナカミキリ (*Enoploderes bicolor* (ŌBAYASHI)) を採集することができたので報告しておく。

### 【採集データ】

1 畠・愛知県額田郡額田町・本宮山

29 IV 1985 (快晴・微風)

当日、足ならしのつもりでピーティングを行しながら、登ったところ、くらがり溪谷より約 4.5 km 登った所の下草より得ることが出来た。小型の個体であり、また、風の吹き上げの強い場所であったことより下草で羽を休めていたと思われる。

以後、2 回の調査を行ってみたが追加することは出来なかった。愛知県下においては、竹内克豊氏により、東栄町<sup>1)</sup> 鳳来町<sup>2)</sup> の 2 例がある。しかし、いずれも♀の個体であった。今回、♂の個体を追加することができた。

末筆ながら発表を勧められた、竹内克豊氏に厚くお礼申し上げる。

### 【参考文献】

- 1) 竹内克豊 (1983) 愛知県奥三河産カミキリ数種、月刊むし (154) 8。
- 2) 竹内克豊 松村英一 (1978) 愛知県のカミキリ数種、佳香蝶 29 (113) : 8。  
(〒 441-31 愛知県豊橋市大岩町沢渡 6-8)

## 東三河における ウシカメムシの分布

浅岡 孝知

ウシカメムシ (*Alcimocoris borealis* Scott) は、かつてほとんど採集されなかったが、筆者のまとめによると、下記の各地におい

て確認することができたので報告する。しかし、まだ個体数も少なく、寄生植物についても様々でありよくわかっていない。

### 採集地

1. 豊川市財賀町 観音山  
過去に山崎、西川、大平各氏が記録。
2. 宝飯郡御津町 五井山  
16-VI, 85 (1), 枯枝に静止中の個体を得る。
3. 新城市市川 船着山  
過去に山崎氏、筆者 18-V, 86 (1) が記録。  
グミの樹上より得る。

以上のように、かなり広範囲にわたって確認された。今後更に新産地が見つかるものと思われる。

### 〔参考引用文献〕

- 1) 山崎隆弘 (1979) ウシカメムシ財賀寺に産す。三河昆虫研究会採集ニュース第 3 号 : 49。
- 2) 山崎隆弘 (1981) ウシカメムシ舟着山にも産す。三河の昆虫 No 27 : 114。
- 3) 大平仁夫 (1986) ウシカメムシを採集。三河の昆虫 (通信) No 104。

## アヤヘリハネナガウシカ の分布

浅岡 孝知

アヤヘリハネナガウシカ (*Losabnosia hibar-ensis* Matsumura) については、文献によると稀な種とされてきた。筆者は、これまでに下記の各地で生息を確認しているため報告する。県内における分布状況は左図のように、かなり広壁冊に及んでいる。尚、標高の表示は、いずれも推定である。

1. 豊川市財賀町 (60 m)  
3-VIII, 86 (1)。夜間
2. 新城市船着山 (150m)  
12-VI, 86 (1)。夜間
3. 下山村三河湖 (470m)  
6-X, 86 (1)。ピーティング
4. 下山村小松野 (500m)  
6-X, 86 (1)。ピーティング



分布図

5. 豊田市猿投山 (250m)  
19-X, 86 (1)。ピーティング
6. 幡豆郡一色町佐久島  
9-VII, 78 (1)。

## 〔参考引用文献〕

佐藤正孝他 (1974) 春日井の昆虫 4 : 6。

## オオツノカメムシ 篠島に産す

浅岡 孝 知

オオツノカメムシ (*Anaxandra gigantea* Matsumura) は、前胸背の側角が紅色で美しいカメムシであるが、過去の記録として、遠望山、竹島、岡崎市本宿町、石巻山、三ヶ根山等で確認されている。今回、筆者は篠島を調査した折、生息を確認したので報告する。初めての記録であると思われる。

## 〔記録〕

篠島 9-X, 86 (2)。グミ、ヒサカキ樹上。

## 〔参考引用文献〕

山崎隆弘 (1976) 珍カメムシ 3 題 三河の昆虫 № 14 : 56。

## 豊川市財賀寺にて ヒメハルゼミ産す

浅岡 孝 知

愛知県におけるヒメハルゼミ (*Euterposia chibensis* Matsumura) の既知産地は、足助町 (県指定文化財)、鳳来町一帯、新城市雁峰山、御堂山 (県指定文化財)、岡崎市八幡神社 (市指定文化財) 等である。そして1986年度に、定光寺で脱皮殻が見つかった。筆者らは数年前より財賀寺一帯を調査し、生体を確認することができたので報告する。

同地は、前述の産地にくらべ、その発生数は

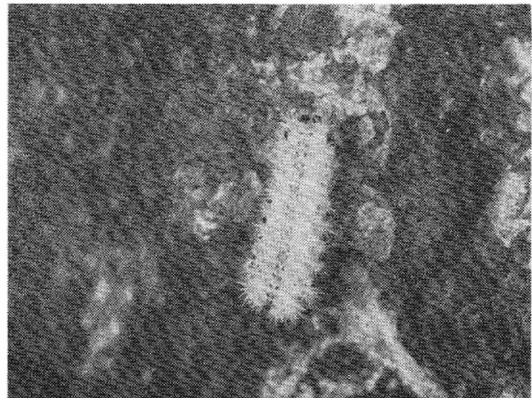
多く、比較的自然度が保たれている。各地の発生数が減っていく中で、身近に産地が残されていたことは興味深い。今後、全山の自然環境を守りながら、ヒメハルゼミを見守っていきたい。

## アオイラガ幼虫を 岡崎市で採集

細谷 浩 史

昨年夏、岡崎市明大寺町、岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所構内のA地区テニスコートわきのサクラに、アオイラガ *Latoia consocia* (WALKER) の幼虫が発生していた為、撮影、採集した。アオイラガは、新編岡崎市史14巻、「自然」編に収録されている蛾類の種の目録に記載されていない為、ここに報告する。

1. 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38、岡崎国立共同研究機構、基礎生物学研究所構内、サクラ古木、10. VIII. 1986. 筆者採集。



当時、幼虫は、サクラの幹を集団で下りつつあり、地上から30cm程度の所で写真撮影を行った。又、上記地区以外にも、岡崎市康生町の岡崎公園内のサクラの木にも本種の幼虫が発生している事が観察された (14. VIII. 1986)。

最後に、本種の同定に御尽力下さった三浦重光先生、ならびにいろいろと御相談ののって下さった大平仁夫博士に誌上を借りて御礼を申しあげる。